



絆

学校便り No.4
令和4年6月30日
奄美市立住用中学校

『学び』で可能性の扉を開く住用中

すこやかな心を育むために

校長 原 憲正

先日、このような報道がありました。

『仙台市立中の30代男性教諭が昨年、足の骨に形成不全があり配慮を求められていた生徒に、「人間の足の動きではない。その足で和式便所は使えない」との趣旨の発言をしていたことが20日、市教育委員会への取材で分かった。生徒は現在まで不登校になっている。』（共同通信 6/20 配信）

報道を見て、この教諭の発言が不適切であることは言うまでもありませんが、わたしが一番に感じたのは、こんな言葉を投げつけられ不登校に追い込まれた生徒の心の痛みです。想像するだけで胸が苦しくなります。どうしてこのように、つらい目にあう子どもが後を絶たないのでしょうか。

先日、住用小・中学校の家庭教育学級開級式において保護者の方々にあいさつをする、貴重な機会を頂きました。こういう機会はなかなかありません。

そこでわたしは、一人でもつらい目にあう子どもがいなくなるようにとの思いを込めて、自分自身が負った心の傷とそれに気付いた時の話をし、自分と似たような経験をした芸人のもう中学生さんの記事を、資料としてお渡ししました。

親とか教師とか関係なく、わたしたち大人は注意深く子供に接していかないと、子供の心を深く傷つけてしまう場合があります。「あんたは橋の下で拾ってきた子なんだよ。」こう親に言われてショックを受けた経験のある子どもが多いという調査データもありました。これを読まれている方の中にも似たようなことを言われた経験があるのではないのでしょうか。言った方は冗談でも、子供の心は確実に傷を負います。

心に傷を負った子供は、傷を見ないようにして、あるいは傷を負ったこと自体に気付かず、そのまま大人になっていきます。そして大人になって、子供の頃自分がされて嫌で、心に傷を負ったにも関わらず、無意識のうちに自分がされたことと同じことを子供や周囲の人間にしてしまう。児童への虐待も、部活動の体罰もこれと同じです。こうして、虐待や体罰の連鎖は続いていきます。

わたしたち大人が自分自身の心の傷に向き合って自分がされて嫌だったことを、子どもに言わない・しないという強い気持ちを持って声かけや行動を変えていけば、つらい目にあう子どももいなくなり、すこやかな心が子どもたちに育まれていくのではないのでしょうか。

命の大切さを学ぶ



【オンラインでのがんについての学習】

6月9日(金)に「NPO 法人がんサポートかごしま」の協力のもと「がん」教育に関する健康教室をオンラインで行いました。授業では、がん当事者である神田さんが、がん発見から治療～現在に至るまでや、ご家族の事などを丁寧に紹介してくださいました。神田さん自身、がんになったからこそ伝えたい“いのちの大切さ”や健康で何気なく過ごす日常が当たり前ではないということを涙ながらに話してくださいました。「がん」=怖い・つらい・死といった、負のイメージで占めていた考え方が少しは転換できたのではないのでしょうか。それは、生徒たちの感想からも見て取れました。がんを患っても、元気で生き生きと活動していらっしゃる神田さんや上水流さん(講話の中で登場)の姿は、生徒たちの心に何か響いたものがあつたようです。「怖い」「つらい」「すごい」「助けて」「自分ならこうしたい」など、様々な感情が動かされた1時間でした。日常では得られない深い学びを経験できました。

進路先を考える



【高校の先生が熱心に説明をしてくださいました。】

6月2日(木)に市中学校、東城中学校、住用中学校合同で3年生を対象に合同高校説明会を開催しました。大島高校や奄美高校をはじめ公立・私立合わせ、島内外の5校の説明を聞きました。高校の先生方が熱心にそれぞれの高校の特徴などを説明してくださいさり、生徒にとっては今後の進路選択に向けての貴重な機会となりました。

命の守り方を知る



【AED 実技研修・心肺蘇生法の実技研修】

6月11日(土)に住用消防分駐署の俊さん、幸さん、勝島さんを講師にお招きしてAEDの使用の方法と心肺蘇生法について研修を行いました。

まず消防署が作成した救急場面のVTRを見せてもらい、その後2つのグループに分かれて生徒、職員全員が実技を行いました。

生徒代表によるお礼の言葉で森岡大悟さんは「もし自分が緊急の場面に遭遇したら今日学んだ事を生かして人の命を助けたい。」と頼もしい言葉を述べました。

歯と口の健康の大切さを知る



【中吟子先生による歯と口の健康教室】

6月は「むし歯予防月間」でした。それに合わせて、6月21日に『歯と口の健康教室』を行いました。

今年も歯科衛生士の中吟子さんを講師にお招きし、歯みがき指導をしていただきました。マスクをしていることにより口内の細菌が増殖してしまうことや、咀嚼のときに舌を使うことで、だ液の分泌量の増加につながり、むし歯にかかりにくくなること、正しい姿勢が歯並びに影響を与えることなどを学びました。

先日、保護者の皆様へむし歯治療の案内を配付いたしました。治療が必要な場合は早めの受診をお願いします。早めの治療が歯の健康を長く保ちます。御協力をお願いします。

住用中学校生徒総会



【活動内容の発表や質問に対する回答を行いました】

6月11日(土)に生徒総会を行いました。1ヶ月前から入念な準備を行った為、生徒たちは活発な意見交換を行いました。生徒会活動への意見や校則の見直し、修繕箇所の修繕、備品購入などの要望も出され充実した内容の総会となりました。

住用中学校生徒会では保体部、学習部の常時活動を始め、朝のボランティア活動、愛校作業などの活動を行っています。今年度も一事徹底事項として「**気持ちの良い挨拶の実践**」に決定しました。

学校の中だけでなく地域でも気持ちのよい挨拶を実践いたしますので見守ってください。

黒うさぎ留学について

住用中学校では「奄美くろうさぎ留学」の留学生を募集しています。校区内の里親宅から通うのですが、留学生の対象は全国から応募のあった生徒に限りません。校区内にお住まいの方の親戚の子供やお孫さんもその対象で、留学生受け入れに対する助成制度(月額35,000円)も適用されます。

親戚のお子さんやお孫さんを自然豊かな地で一人一人大切にできる環境で学ばせたいとお考えの方は、ぜひ住用中学校にご連絡ください。

7・8月の主な行事

- 7/ 7 (木) 学校評議委員会
(校長室 18:00~)
- 7/11 (月) 性に関する学習(兼家庭教育学級)
(多目的ホール 14:10~)
- 7/15 (金) 校内弁論大会
(多目的ホール 11:00~)
- 7/19 (火) お弁当の日
- 7/20 (水) 終業式
- 7/21 (木) 夏季休業~
- 8/ 1 (月) 出校日
- 8/19 (金) 出校日
- 8/28 (日) PTA奉仕作業
(住用中グラウンド 6:30~)

